

事項	要点
<p>一、兼認シ難シ 二、日々交替ハ不可能但シ公平ニ取扱フ 三、考慮ス 四、兼認シ難シ 五、漸次改修ニ努カス 六、解雇手吉制ハ公表ス 七、兼認 八、解雇手吉制ハ公表ス 九、延期ハ兼認シ難シ但シ昭和六年五月下半期分勘定ヨリ昭和七年五月上半期ニ至ル迄ハ概高ノ五分引去ルコト、昭和七年下半期分ヨリハ概高ノ一割引トス 一〇、漸次改修ニ努カス 一一、日々交替ハ不可能但シ公平ニ取扱フ 一二、考慮ス 一三、兼認シ難シ 一四、右同</p>	<p>一、歩合制度ヲ改正スルコト(男入女九分) 二、購買会利益金全額配当ノコト 三、通勤手当ヲ復讐スルコト 四、今回ノ争議ニ依ル犠牲者ヲ出ササルコト 一、兼認シ難シ 二、不当ナル解雇ハ行ハス 三、値上ニハ志シ難キマ不志ナル値下ヲナサス且單價ヲ核計シ公平ヲ計ル 四、共助会評議員ニ従業員代表ヲ選ビ共同管理ノ実ヲ掲ギト 五、大勘定ハ従来通りナラニ週一回内渡ヲナス 六、従業員代表ヲ以テ懇談會組織トス 七、兼認</p>

備考	要点
<p>外部在労働団体 西部会 山形労働組合 日本石炭坑夫組合 八幡職夫組合 小倉製鋼労働組合</p>	<p>一、五、争議費用ハ支給セス 一六、支給セス 一七、兼認シ難シ 一八、考慮ス 一九、通信官ナド假設シ實現ニ努カス 二〇、従来通りトシ公平ナル取扱ヲナス 二一、既当ハ不可能ナルカ極力物品安價販賣ニ努カス 二二、目下ノ處兼認不可能 二三、争議ニ参加セルノ故ヲ以テ解雇スルコトナシ</p>